

青少年の豊かな心と生きる力を育てる事業

取り組みに至る背景・事業の目的

小中学生のいじめや不登校が取りざたされる昨今、ストレスを溜める一方の生活からは、その解決の糸口は見つけ難い。草原、河川、里山など自然環境の中で、ストレスが充満した心と体を解放したり、親や地域の大人とのふれあいを持つ機会を意図的に作り、数々の野外や自然の体験の中からやさしさ・たくましさなどが身に付く体験活動を行う。

事業内容

- 縄文土器づくり、縄文人の生活体験
 - ① 縄文土器作り、野焼き
 - ② 縄文人の生活体験(火起こし、黒曜石の包丁作り、土器で煮る縄文汁、縄文小屋での宿泊、考古学者による縄文人の生活の講話、朴葉焼き、紫米ご飯など)
 - ③ どんぐり料理体験(すいとん、団子など)
- ふれあいキャンプ(自然観察、鯉釣り、サバイバル飯作り、ネイチャーゲームなど)
- 千曲川川遊び(川遊び、魚釣り、塩焼き、河川清掃)
- 里山の手入れと遊歩道作り
- 炭焼き体験(木炭、竹炭焼き講習)
- 親子オカリナ作り



事業効果

- 9事業を実施し、小中学生を中心に延べ約450人の参加者を得ることができた。
- 子どもが、危険に接触することで自然に危険を避け、限界を知り安全に行動する習性が身に付いた。長時間まとめて遊ぶことにより集中力を身につけ、自然の中で様々な生物との関わりの中から命の大切さを学んだ。また、自然環境の中で、ゆったりとした時間を過ごすことによりストレスの解消が図られた。
- 保護者からは、「子どもが生き生きして帰ってくる、親が教えることができない体験が充実している、異年齢の友達が増え、大人とふれあう機会に恵まれた」などの感想をいただいている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 野外活動では、目的地へ必要な物品や用具等を事前に準備しておく必要があり、この労力が大変だった。また、天候に左右されるので、これを予測して様々な工夫をする事が求められ、時には思い切った変更が必要となることもある。障害保険の加入、医薬品の携行、救急連絡先、参加者名札等、救急への対応に配慮している。
- 今後も同様の活動を更に充実し継続していく。また、他団体とのネットワーク作り、相談活動の具体的な計画、カウンセラーの育成等に力点を置いて、不登校の子どもの復学、社会的自立などの支援活動を充実する。

【選定のポイント】

野外体験活動の実践に多くの子どもたちが参加し、自然への接し方を学び交流を深めた。

団体名	NPO 法人 根っこの会 (東御市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	代表理事 山田 進	事業費	1, 419, 100円
電話	0268-34-6730 (事務局)	支援金額	963, 000円
E-mail	nekkonokai-npo@mail.goo.ne.jp		